

2018  
10/8(月)  
~19(金)

# 取材レポート♪

## リビルド合宿!

学生広報委員 ピアノ調律科2年  
新貝康輔、北村茉夕、森川彩夏

### ～ピアノが生き返るまで～

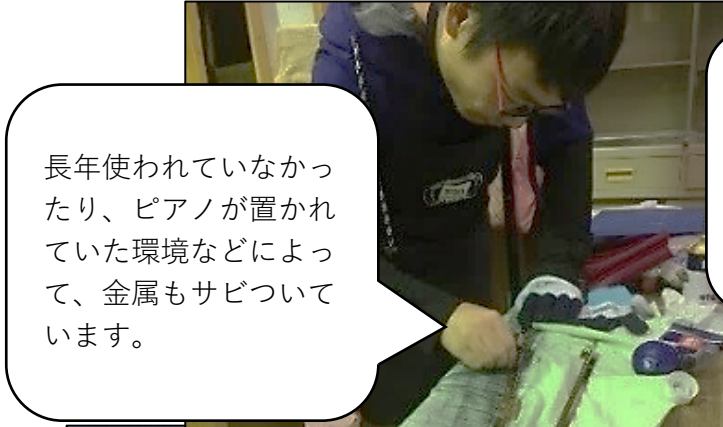


現在のピアノ市場では、新品の普及と共に中古ピアノがリニューアルされることも多く、リビルド(再生)技術も求められています。本校ピアノ調律科では、研修センターでリビルド技術に磨きをかけました。古いピアノであっても素性の良いピアノは優れた設計がされていて、貴重な材料が多く使われています。そのため、いたんだ部品を修復することで新品とは違った持ち味の素晴らしいピアノに生き返ります。

### 金属磨き



### 部品交換



長年使われていなかったり、ピアノが置かれていた環境などによって、金属もサビついています。



鍵盤部分のキズや劣化、色あせなども交換。ヤスリで垂直に削るのは技術が必要です。



丁寧に磨いて、輝きを取り戻していきます。



ピアノの打弦機構の部品交換。細かい消耗品も多く、正確に部品を交換しないと演奏に支障をきたします。

### 私たちがリビルド合宿を行う目的は？

#### ★「作業方法を取得し、リビルドの流れを学ぶ目的」

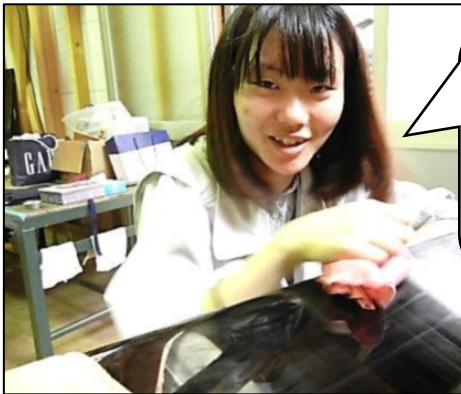
中古ピアノの査定、作業計画から仕上げまでの流れを学び、即戦力になる技術を身につけます。また、作業を行うことで現在の自分自身の技術力や知識量を確認し、今後の実習に役立てます。

#### ★「責任を持って仕事にあたる意識を高めること」

仕事では、責任感があることは必須条件。自分に任されたことは最後まで責任を持ってやりきり、達成感を味わうことができます。

## 外 装 修 理

## 品 評 会



深いキズは、パテを埋め込み、ペーパーヤスリで磨いて直していきます。

キズ消しの後は、バフ掛けで外装にツヤを出していきます。



最後には、リビルドを終えたピアノの品評会を行いました。



## ～学生コメント～

### 作業計画の作成やそれを進める大切さを感じました！

作業計画を細かく考えていき、優先順位を考えながら作業計画表を作成しました。進めていく中でハブニングもありましたが作業計画表があったので落ち着いて対応でき、時間の無駄を省くことが出来ました。また、お互いに助け合って作業することも大切なことがわかりました。

### 楽器として機能させることの大切さを感じました！

今まで、学校で修理や整調を学んでいく内に、ピアノの扱いが疎かになっていました。しかし、この合宿を通して楽器として意識を改めることができ、さらに演奏者の立場になって作業を行えたり、たくさん弾いて欲しい、一生懸命ピアノを美しくしよう、という想いが強くなりました。

### 現在の自分の実力を把握でき、今後の課題を発見できました！

この合宿で、自分の実力を知ることが出来ました。苦手な作業もありましたが、段々とコツをつかんで早く綺麗に仕上げることが出来るようになりました。さらに精度を高めていきたいです。

